



碩台小学校を卒業し、現在も校区に住む人が多い碩台校区。校歌は住民にも歌い継がれている

なでしこの歌
道のべにおそろる如く
おいさく 気高き姿

初代校長が、なでしこのように優雅で逞しい子どもに育てられて参加)。
また、明治6年に開校した碩台小学校は、さまざまなコンクールで何度も優勝した合唱の実力校でもあり、戦前には男女合わせて3年連続全国制覇を成し遂げました。(当時は男女分かれて参加)。

歴史を感じる町並みに
なでしこの歌が響く
熊本 市のほぼ中央に位置する碩台校区。国道3号をはさみ、南坪井・並木エリアと子飼周辺エリアに分かれています。
南坪井・並木エリアは、老舗の古書店、和菓子店や、若者

に人気の古着屋やレストランなど、新旧が混在する地域。各商店での工夫を凝らした取組が功を奏し、多くの若者で賑わう通りです。
一方、白川沿いの子飼周辺エリアには、子飼商店街や、藤崎八幡宮があります。また、今は石碑が残るだけですが、大相撲を取り仕切っていた吉田司家や、現在は熊本城三の丸に移転している旧細川刑部邸もこのエリアにあります。

欲しいと作った校歌「なでしこの歌」は、今でも合唱コンクールで歌われているそうです。そしてまた、校区の人にも愛され、歌いつがれているといえます。校歌らしくない、優しく穏やかな歌詞は、校区の人たちも目標とする人の姿なのかもしれません。

藤崎八幡宮と秋季例大祭を支えるまち

熊本 市の総鎮守、藤崎八幡宮は、もともと

と藤崎台県営野球場周辺にありましたが、西南戦争(1877)で焼失したのを機に、現在地に移りました。以来、碩台校区の人々の心の支えになっています。

参加者が心地よくお参りできるようにと、月2回校区の方が参道を清掃。そして秋季例大祭の時は小学校の体育館を開放し、協力しています。

そして、校区の何よりの誇りは「碩台校区が一番古い奉納団体であること、一番最初に飾



伝統と文化を受け継ぐ老舗と新しい感性のショップが入り交じる並木坂



商業と文化が融合した
藤崎八幡宮のお膝元



熊本を代表する祭「藤崎宮例大祭」は、校区の人々も楽しみにしている祭り